回　　覧

令和８年度　校報

いっぽんぎ

今日が楽しく
　明日が待ち遠しくなる学校
○　かんがえる子（知）
○　おもいやりのある子（徳）
○　たくましい子（体）

滝沢市立一本木小学校
令和８年１０月１５日
第１２号　文責：亀　丸

運動会　ありがとうございました

９月１９日（土）に運動会を開催いたしました。運動会準備から開会式の時間にかけて雨が降り，とても天気が心配されましたが，その雨を降らせた雨雲が抜けると，強い日差しが差し込み暑さを感じさせるほど良い天気になりました。子ども達の願いが天に届いたようです。

９月に入り雨の日が多く子ども達は十分に練習することができませんでした。それでも本番では競技に応援に全力で取り組み，「自分の頑張りどころ」でたくさん輝く姿を見せていました。

競技の部では，白組３３３点，赤組２５７点で白組の優勝，応援の部では４対１で赤組が応援賞をとりました。「仲間がいるから競技ができる」，「相手がいるから戦うことができる」のとおり，閉会式後は互いの健闘をたたえ合い，運動会終了後もすがすがしい表情をしていました。

ご来賓の皆様や保護者の皆様，たくさんの地域の皆様の声援をいただきました。大変ありがとうございました。また，ＰＴＡ校外指導部の皆様には，開会前の早い時間帯にあの雨の中，車の駐車誘導を行っていただきました。また，保護者の皆様には運動会終了後の後片付けもご協力いただきました。おかげさまで感動の多い思い出深い運動会になりました。



１年生のかわいらしい開会式で運動会が始まりました。
この時はまだ心配な天気でした。

赤白応援団長による選手宣誓。
堂々とした２人の姿に，６年生の成長を感じました。





入学して半年，あきらめずに最後まで走る１年生。

力強く走る６年生。「負けない」という気迫を感じます。





低学年のチェッコリ玉入れ2026。踊りはかわいらしく，勝負も片付けも全力で。

高学年のチャグポン綱引き2026。保育園側が勝つというジンクスが破られました。





応援賞をとった赤組応援団。
声の大きさやふりが揃った応援が魅力的でした。

白組応援団。
力強さと勇ましさを感じる応援が魅力的でした。



赤白両応援団長の感想

「運動会を終えて」　　赤組応援団長　６年　中山　大聖

ぼくは，どうしても応援団長になりたかったので，応援団長に選ばれた時はとてもうれしかったです。
応援団のみんなと練習の時から応援賞を目指してがんばりました。
本番では，応援歌の歌詞やエールの手のふり方をミスしないようにがんばりました。ぼくの声がみんなに届いてみんなの力になればいいなと思いました。
応援賞が決まった時に旭さんと抱き合って喜びました。心に残った運動会でした。

「運動会を終えて」　　白組応援団長　６年　八幡　渓人

ぼくは，本番までに腹から声を出すということを意識して練習に臨んできました。
いよいよ本番，会場にはたくさんのお客さんがいました。開会式の選手宣誓，赤組応援団長の中山大聖君とアイコンタクトをしてお互い声をそろえることができました。競技のときには，「赤組なんかに負けないぞ。」という気持ちで応援しました。結果発表。白組３３３点，赤組２５７点で白組が勝ちました。応援賞はとることができなかったけど白熱した運動会でした。

児童用の机といすが新しくなりました

子ども達は自分の机といすを大切に使用していましたが，経年劣化に伴い座っている時に体を動かすとギシギシと音がするようになっていました。机やいすを新しいものに更新できたらと思っていたところ，今年度『防衛省交付金事業』により，全校児童の机といすが新しくなりました。



新しい机といすも身長に合わせて高さが調節できるものです。また，以前の座面はプラスチック製で冬場などは静電気が起こることがありましたが，新しいものは木製の座面で少し広く，とても温かみがある上に静電気が起きにくいものになっています。さらに机の横にあるフックがスライド式になっていて，必要のない時はしまうことができるようになっています。子ども達は新しい机で学習することをとても喜んでいます。大変ありがとうございました。

回　　覧

令和８年度　校報

いっぽんぎ

今日が楽しく
　明日が待ち遠しくなる学校
○　かんがえる子（知）
○　おもいやりのある子（徳）
○　たくましい子（体）

滝沢市立一本木小学校
令和８年１０月１９日
第１３号　文責：亀　丸

芸術鑑賞教室



９月２９日（火）に芸術鑑賞教室を実施しました。昨年度までは国や県の事業により鑑賞教室を開催していたので費用がかかりませんでしたが，今年度はそれらの事業で実施することができず，保護者の皆様に費用を負担していただく形での開催となりました。開催にかかる費用の負担にご協力いただき大変ありがとうございました。来年度はまた国や県の事業で開催できることを願っています。

当日は「くまさん音楽隊」に演奏していただきました。この楽団は，吹奏楽を身近に感じ，より多くの子ども達に，楽器と触れ合いながら音楽をする喜びを味わってほしいという思いで活動なさっている盛岡市に拠点を置く楽団です。

当日は２２名の団員の方にお越しいただき，吹奏楽の迫力のある演奏を聴かせていただきました。「マーチ　ブルー　スカイ」から始まり，「楽器紹介」，「メリーゴーランド」，「ベイビー　ゴット　ブレス　ユー」，「好きすぎて滅」と教科書にもあるようななじみのある曲から最近の流行歌が演奏されました。最後にくまさん音楽隊の演奏で校歌を歌いました。大きな声で元気に歌うことができました。ある曲ではしっとりとした美しい音色を楽しんだり，ある曲ではノリノリで体を動かしたり，アンコールの「銀河鉄道　９９９」まで思いっきり楽しんだ演奏会になりました。



それぞれの楽器の名前と演奏の仕方や音色を紹介していただきました。

「好きすぎて滅」の演奏でノリノリに踊る３年生。とても楽しそうな表情でした。



４年　防災学習（イーハトーブ火山局見学）



９月３０日（水）に４年生がイーハトーブ火山局（岩手山火山防災情報ステーション）に見学に行きました。校報１１号で紹介した「お山が燃えている」の大型紙芝居の鑑賞で，過去に岩手山が噴火した時にここ一本木でも大きな被害が出たことを知り，それぞれが火山災害について学習課題をもちながらの見学となりました。日本にはいくつもの火山があり過去に噴火している山があること，もし岩手山が噴火したときに，どこでどのような災害が起きる可能性があるのか，そして火山だけではなく豪雨等により起こる岩屑なだれや土石流の恐ろしさについても学習しました。さらに，土石流から地域を守るために国土交通省がつくっている砂防堰堤を見学することができました。イーハトーブ火山局で模型を使って説明していただいたものを，実際に見ることで学びが深まりました。

松尾八幡平ビジターセンターでおいしいお弁当をいただき，ハンカチ落としやおにごっこなどを楽しみました。八幡平の美しい景色を間近で見ることもできました。

見学の最後に，１７３２年の噴火で流出した焼走り熔岩流を見学しました。一面に広がる熔岩を見て火山噴火の規模の大きさを実感することができました。

４年生はこれから紙芝居や火山局の見学等で学んできたことを考察しながらまとめ，自分達の学びを発表する学習を進めていきます。噴火警戒レベルが１に下がり，入山規制が解除された岩手山ですが，あくまで火山であることに注意しながら，災害に対して常に備える意識をしっかりともってほしいと思います。





模型で土石流や泥流の発生と被害を学習した後，実際に洞ヶ沢砂防堰堤を見学。この堰堤は噴火に伴う降灰と降雨に瑠土石流から町を守るためのものだそうです。



焼走り熔岩流を見学する子ども達。岩手山が見守っているよう。

２年　陸上自衛隊岩手駐屯地見学学習

１０月５日（月）に２年生が陸上自衛隊岩手駐屯地の見学学習をしました。これは，自分達が住んでいる一本木地区にどのような施設があるのかを知り，そこで働いている方々が普段どんな仕事をしているのかを学ぶことや災害時に自衛隊の方々がどのような活動をしているのかを学習することを目的としています。

最初に身の回りの物を使ってスリッパや担架をつくる方法を教えていただきました。子ども達は新聞紙を上手に折り，自分の足に合ったスリッパを作ることができました。担架は実際には組み立て式のものを使いましたが，清掃用具の柄と毛布などでも簡単に作れるそうです。数人集まれば子ども達の力でも大人を持ち上げることができることを実感しました。

次に自衛隊で大切にしている所作を教えていただきました。隊員の皆さん全員が心を一つにするために，「敬礼・気を付け」等の所作を大切にしていることを教えていただきました。

最後に駐屯地の建物の屋上から自分達が住んでいる一本木地区を見せていただきました。グランドで訓練をする隊員さんの姿も見ることができました。







新聞紙でスリッパづくり。
いざという時足を守ることができます。

清掃用具の柄と毛布などで担架を作ると，子ども達の力でも大人の人を運ぶことができることを教えていただきました。